

看護研究 ● 1989～1995 年の焦点, 特集等のテーマと主要収載論文一覧

発行年
(巻) 号 焦点, 特集等のテーマと収載論文

- 1989 1 特集●「看護実践における評価研究ケアの効果はどのように測ることができるか」
(22 巻)
- 第Ⅰ部「米国における看護の評価研究の動向」 記名なし
第Ⅰ部「1. 評価研究の定義とモデルの概念化」 William L. Holzemer
第Ⅰ部「2. モデル変数によって構成された研究の知見」 Carol A. Lindeman
第Ⅰ部「3. 実践における評価研一例—術前患者に対する介入の探索過程」 Carol A. Lindeman
第Ⅱ部「看護のための評価研究の課題と可能性」 記名なし
第Ⅱ部「4. コンピュータ・テクノロジーと評価研究」 William L. Holzemer
第Ⅱ部「5. 倫理問題と評価研究」 William L. Holzemer
第Ⅱ部「6. 研究の活用：研究は実践を変えるだろうか？」 William L. Holzemer
第Ⅱ部「7. 看護実践の本質と目標」 Carol A. Lindeman
第Ⅱ部「8. 要約」 Carol A. Lindeman
第Ⅲ部「評価研究の実施過程」 記名なし
第Ⅲ部「9. 研究課題を一般化する 3 本柱のアプローチ」 Carol A. Lindeman
第Ⅲ部「10. 研究デザインの選定」 William L. Holzemer
第Ⅲ部「11. 研究の方法論：標本の抽出と測定用具」 William L. Holzemer
第Ⅲ部「12. 要約」 Carol A. Lindeman
第Ⅳ部「演習」 村嶋幸代, 大川章子, 太田喜久子, 荃津智子, 小山真理子, 手島恵, 堀内成子, 南裕子
-
- 2 焦点●「変貌する“家族”概念」
解説「家族の現在とゆくえ」 山根常男
解説「家族生活のライフスタイル」 藤見純子
解説「離婚と子供の監護—子の福祉の観点から」 下夷美幸
解説「子育てと家族」 依田明
解説「老人家族の変容」 高橋正人
-
- 3 焦点●「家族療法の理論と実際」
解説「家族療法の理論および技法論(概説)」 岡堂哲雄
解説「システムズ・アプローチによる家族援助の理論と実際」 亀口憲治
解説「短期療法—ソリューション・フォーカスト・アプローチ」 長谷川恵三
解説「コミュニケーションの視点から」 佐藤悦子
解説「Bowen の家族システム理論と家族援助」 服部陽児
海外文献「家族理論モデルと家族療法モデル：看護実践への適用に関する比較検討」 Susan L. Jones, Margaret Dimond, 神戸恵子
-
- 4 焦点●「看護における家族研究の現状」
研究レポート「自宅退院を間近にした患者の不安に影響を及ぼす家族的要因—リハビリテーション施設における聴き取り調査を基に」 沼本教子, 瓢風須美子, 渡辺タミ子
研究レポート「配偶者と死別した個人の悲嘆からの回復にかかわるソーシャル・サポート」 宮本裕子
研究レポート「終末期患者の家族に対する看護—家族ダイナミックスへの看護介入のあり方」 荒川靖子, 佐藤禮子
研究レポート「脳卒中後遺症をもつ高齢患者の家庭復帰—患者を含めた家族の介護指導へのかわり」 清水洋子
海外文献「家族システム：価値観と価値観摩擦—臨床実践と看護教育への理論の新しい応用」 Ardis R. Swanson, Patricia M. Hurley, 松谷美和子
-
- 5 焦点●「看護における家族研究の課題」
解説「家族看護学への展望—アメリカ合衆国のファミリーナーシングの動向を通して」 野嶋佐由美
解説「看護における家族分析・援助のための枠組の検討—演繹的・帰納的アプローチを試みて」 島内節
解説「家族援助における看護の視点—老人介護の受容過程と家族関係を中心として」 高崎絹子
綜説「精神障害者の社会復帰における家族の役割と家族支援—英米圏の研究動向と看護職の課題」 羽山由美子
座談会「看護における家族研究の現状と課題—看護独自の家族理論を開発するために」 伊藤真由美, 野嶋佐由美, 高崎絹子, 島内節

- 1989 5 海外文献「配偶者喪失による悲嘆過程」 Marilyn Jean Hauser, 黒江ゆり子
(22 巻) 海外レポート「家族査定法としての EE の日本への適用と英国における EE 研究の最近の動向」 羽山由美子
-
- 1990 1 特集●「看護教育における評価研究教育プログラムの効果はどのように測ることができるか」
(23 巻) 第1章「看護教育プログラムにおける評価研究」 Rheba de Tornyay
第2章「有用なプログラム評価のデザイン—調査に焦点をあてて」 Christine A. Tanner
第3章「プログラム評価の方法論における基本概念」 Christine A. Tanner
第4章「質的および量的方法における信頼性と妥当性」 Christine A. Tanner
第5章「プログラム効果の評価—臨床上の意志決定をする際の実践能力の測定」 Christine A. Tanner
第6章「看護教育プログラムの評価—日本における研究事例」 香春知永
第7章「評価研究における倫理的問題」 Rheba de Tornyay
第8章「評価研究の将来の方向」 Rheba de Tornyay
第9章「〈シンポジウム〉看護教育はなぜ高められる必要があるのだろうか—大学院教育の必要性に焦点をあてて」 Rheba de Tornyay, Christine A. Tanner, 南裕子, 黒田裕子
第9章「Ⅰ. 看護学における大学院教育への期待—大学院教育を開設した立場から」 Rheba de Tornyay
第9章「Ⅱ. 臨床実践能力の発達の課程：大学および大学院教育の効果」 Christine A. Tanner
第9章「Ⅲ. 日本における大学院教育に求められるものとその背景」 南裕子
第9章「Ⅳ. なぜ修士課程, 博士課程なのか：第1期博士課程院生として」 黒田裕子
第10章「討議」 記名なし
-
- 2 焦点●「文化人類学的研究方法」
解説「看護および医療における文化人類学的研究の方法」 波平恵美子
座談会「文化人類学的研究方法の活用」 波平恵美子, 田村やよひ, 南裕子
海外文献「民族看護学：文化の違いを超えた看護知識を生み出すための看護研究法」 Madeleine Leininger, 田村やよひ
研究「食養生を継続している人の食生活の実態と食養生を継続させている要因について」 和田素子
研究「異文化での生活の変化に直面して：日本で出産したアメリカ人女性たちの症例」 Nancy Sharts Engel, 古庄しおり, 岡谷恵子
報告「近代産婆」に関する研究とそのプロセス」 西川麦子
-
- 3 焦点●「Grounded Theory Approach」
解説「Grounded Theory の理解のために」 木下康仁
解説「看護研究への Grounded Theory の応用」 村瀬智子, 樋口康子
解説「看護研究方法における Grounded Theory 活用の動向—米国を中心に」 片田範子
研究「長期入院中の精神分裂病患者の時間の流れの速さに関する感覚の分析—結核患者との対比を通して」 田中美恵子
原著論文「看護婦からみた患者の了解不能性の分析」 川名典子
座談会「看護研究に Grounded Theory を活用して」 小代聖香, 川名典子, 片田範子
-
- 4 特集●「看護教育における教育方法 Clinical Judgement はどのように育てられるか」
第1章「看護における Clinical Judgement の基本的概念」 Sheila A. Corcoran
第2章「Clinical Judgement の教育と研究の動向」 Sheila A. Corcoran
第3章「教育と相談の領域における臨床判断」 都留春夫
第4章「分析的判断の教育方法」 Sheila A. Corcoran
第5章「直観的判断の教育方法」 Sheila A. Corcoran
第6章シンポジウム「Clinical Judgement はどのように育てられるか」 小島操子
「Ⅰ. 臨床実習を通しての学生の成長過程—母性看護学と助産課程の比較」 堀内成子
「Ⅱ. 小児看護を学ぶ学生の臨床判断の成長」 片田範子
「Ⅲ. 臨床で看護婦として働き始めての1年半を振り返って」 藤田朗子
「Ⅳ. 臨床実践における臨床判断の育成—その関連要因と管理者の役割」 岡谷恵子
文献「意思決定における要因としての課題の複雑性と看護の専門的知識」 Sheila A. Corcoran, 小島操子
文献「救命援助の教育—臨床における判断力を上達させる方法としての“思考の言語化”」 Sheila

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
1990 (23 巻)	4	A. Corcoran, Suzanne Narayan, Helen Moreland, 手島恵 文献「クリニカル・ジャッジメントの教育—文献検索」 Christihe A. Tanner, 堀内成子, 片田範子
	5	焦点●「現象学的アプローチ」 解説「研究方法論としての現象学的アプローチ」 山本恵一 解説「M. メルロ＝ポンティの現象学的アプローチ—「知覚」論を中心に」 伊藤和弘 解説「看護における現象学的アプローチの活用」 高橋照子 解説「理論と方法としての解釈的現象学」 Patricia Benner, 片田範子, 鈴木千衣, 蝦名美智子 座談会「現象学的アプローチによる研究の進め方と問題点」 山本恵一, 広瀬寛子, 高橋照子 研究「看護婦—患者関係の成立・発展を阻む看護婦の精神内界における要因分析——精神科病棟の参加観察を通して」 上野恭子 研究「看護学教育における集中的グループ体験のもつ教育的機能に関する研究—現象学的方法を用いて」 広瀬寛子
1991 (24 巻)	1	焦点●「ロイ看護適応モデル」 シンポジウム「臨床知識の発展に向けての理論と研究」 Callista Roy, 片岡万里 シンポジウム「ロイ看護適応モデルの基本的概念と特徴」 松木光子 シンポジウム「ロイ理論の実践へのかけはし—導入と看護過程への適用」 小田正枝 シンポジウム「ロイ看護論の教育への適用」 大島弓子 シンポジウム「ロイ理論の看護研究への適用」 藤生君江 シンポジウム「ロイ適応モデルの教育への適用」 江本愛子 シンポジウム「ロイ適応モデルを臨床実習に適用して」 重松みゆき 補遺「カリキュラムの一部にロイ看護論を導入した教育内容の実際」 大島弓子
	2	焦点●「病院内外の環境をめぐる研究」 解説「“病院が病人に与える害”について—患者をとりまく病院環境についての F. ナイチンゲールの指摘」 金井一薫 解説「病院(院内)環境に関する看護研究の動向」 金川克子 研究「病室や病棟環境に対する患者の認知—環境認知と精神状態および日常生活行動との関係」 服部朝子 提言「患者の病床環境の理解に向けて—Proxemic Theory の立場から」 川口孝泰 報告「病院環境整備の進め方」 酢屋ユリ子
	3	特集●「国際看護理論家会議」 「はじめに」 樋口康子 基調講演「21 世紀の看護：国際的コミットメント」 Rosemarie R. Parse 講演「ベプロウの概念枠組 “対人関係：看護実践における適用のための理論的枠組”」 Hildegard E. Peplau 講演「キングの理論 “キングの目標達成理論”」 Imogene M. King 講演「パースィの理論 “人間生成：研究・実践におけるパースィ看護理論”」 Rosemarie R. Parse 講演「ロジャーズの概念枠組 “宇宙時代における看護”」 Martha E. Rogers パネルディスカッション 南裕子, Hildegard E. Peplau, Imogene M. King, Rosemarie R. Parse, Martha E. Rogers あとがき「1991 年国際看護理論家会議を終わって」 高橋照子
	4	特集●「看護教育における教育方法 個性的学びを育むための新しいアプローチ 聖路加看護大学公開講座委員会編」 第 1 章「アメリカにおけるカリキュラム変革の背景」 Nancy Diekelmann 第 2 章「現象学を使った他分野での教育方法」 伊藤和弘 第 3 章「看護教育：ケアリング, 対話および実践—ハイデッガー派現象学的アプローチ」 Nancy Diekelmann 第 4 章「看護教育：ケアリング, 対話, および実践—探究方法としての解釈学的体験」 Nancy Diekelmann 第 5 章「パネルディスカッション：新しい教育方法を探る—事例を通して」 Nancy Diekelmann, 小島操子 I. 学生の立場からの事例 大石泉

- 1991 4 II. 臨床実習指導における事例・1 小代聖香
(24 巻) III. 臨床実習指導における事例・2 手島恵
V. 助産課程授業における事例 内藤和子 IV = 欠落
VI. 臨床場面でのスタッフ教育における事例 中村めぐみ
文献「体験談のもつ解放力」 Nancy Diekelmann, 横尾京子, 助川尚子
-
- 5 焦点●「人間—環境系の看護研究・1」
総説「Environmental Health Nursing(環境看護学)研究の新展開」 早川和生
解説「Home Environments に関する看護研究—その可能性」 近田敬子
解説「Environmental Health に関する実験的看護研究」 前田ひとみ
研究「VDT 作業と作業姿勢」 小西美智子
海外文献「拘束を減らすための環境改善」 Joanne Rader, 北島謙吾
-
- 6 焦点●「人間—環境系の看護研究・2」
座談会「人間—環境系の看護研究の新潮流」 早川和生, 蓑原美奈恵, 服部朝子, 祖父江育子
解説「人間—Community 環境系と健康—成人病・老人問題と看護活動」 祖父江育子, 森本兼
曩
解説「Working Environment の看護研究」 中島美繪子, 森本兼曩
解説「School Environment に関する看護研究の視座」 泊祐子
研究「病棟の音環境が患者に与える影響」 野村明美, 藤田せつ子
-
- 1992 1 特集●「日本看護診断研究会・第1回学術集会報告」
(25 巻) 特別講演「看護診断に望むこと」 日野原重明
教育講演「看護診断とは何か？」 松木光子
教育講演「看護診断と看護理論」 野島良子
教育講演「看護診断—悲嘆=正常に悲しむということ」 藤野久美子
教育講演「看護診断: 親役割の変調—特に周産期および育児期において」 新道幸恵
教育講演「看護診断: 恐怖と不安」 川野雅資
シンポジウム: 看護診断と看護教育「平成カリキュラムと看護診断」 青木康子
シンポジウム: 看護診断と看護教育「基礎看護学と看護診断」 岩井郁子
シンポジウム: 看護診断と看護教育「成人看護学と看護診断」 藤村龍子
シンポジウム: 看護診断と看護教育「基礎教育から臨床の現場へ」 端章恵
シンポジウム: 看護診断と看護教育「臨床からの期待」 櫻井律子
シンポジウム: 看護診断と看護教育「シンポジウムのまとめ」 草刈淳子
パネルディスカッション「看護診断にどう取り組むか」 中木高夫, 松木光子
-
- 2 焦点●「看護における QOL の研究[1]」
総説「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)その概念的な側面」 黒田裕子
解説「循環器疾患領域における Quality of Life の研究」 萱場一則, 五十嵐正紘
海外文献「癌患者のクオリティ・オブ・ライフ・インデックスの開発およびクリティーク」 Carol
Estwing Ferrans, Betty Rolling Ferrell, 操華子, 黒田裕子
研究「悪性腫瘍で病名を告知されずに化学療法を受けている患者と密接にかかわる家族のスト
レス・コーピング」 中村めぐみ
原著論文「精神障害者の社会適応モデル—生活の満足と自己価値に関するパス解析(第1
部)」 羽山由美子
文献紹介「看護学における QOL の概念と測定—2つの看護婦の論文を通して」 筒井真優美
-
- 3 焦点●「看護における QOL の研究[2]」
総論「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)その測定方法について」 黒田裕子
解説「心理学からの QOL へのアプローチ」 中里克治
海外文献「慢性疾患をもつ成人のクオリティ・オブ・ライフ精神測定学的研究」 Carol S.
Burckhardt, Susan L. Woods, Alyce A. Schultz, Donna M. Ziebarth, 黒田裕子
原著論文「精神障害者の社会適応モデル—生活の満足と自己価値に関するパス解析[第2
部]」 羽山由美子
原著論文「化学療法を受けるがん患者のセルフケア—生活の制限と工夫および療養生活のコン
トロールとの関連」 小迫富美恵
原著論文「一人暮らしの女性老人のクオリティ・オブ・ライフ—自己概念と Life Satisfaction
を中心にして」 田村やよひ

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
1992 (25 巻)	3	文献紹介「疾病を持つ対象の Quality of Life を測定するための方法論—2つの研究論文を通しての QOL 測定方法の検討」 深野木智子
	4	焦点●「寝たきり老人の看護に関する研究[1]」 綜説「寝たきり老人の看護と看護研究の枠組み」 竹内孝仁 解説「『寝たきり老人』の用語について」 田島桂子 解説「『寝たきり』と ADL 評価指標—「日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」をめぐる」 工藤禎子 報告「日本における寝たきり老人の実態調査に関する考察」 吉田伸子 研究「最終臥床期間から見た寝たきり老人—疫学的調査方法からのアプローチ」 安村誠司, 柴田博
	5	特集●「フェミニスト・セオリーから看護を見直す聖路加看護大学公開講座委員会編」 第1章「フェミニスト・セオリーの変遷」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 第2章「フェミニストの観点からの分析」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 第3章「フェミニズムと看護: 課題の再検討」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 第4章「可能性を探る: フェミニスト原理の課題への応用」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 第5章「実践におけるフェミニスト原理」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 第6章「自由討論」 Peggy L. Chinn, Charlene E. Wheeler 文献「看護におけるフェミニスト教授法」 Peggy L. Chinn, 第24回聖路加看護大学公開講座委員会
	6	焦点●「寝たきり老人の看護に関する研究[2]」 座談会「老人看護の現状と今後の課題」 田島桂子, 高原敏夫, 中島紀恵子, 佐藤美穂子 解説「老人のケアにおける家族の負担とストレスに関する研究の動向」 太田喜久子 研究「要介護老人と家族のダイナミクス」 溝呂木忠 研究「施設内老人の日常生活自立度の推移と寝たきりの原因分析」 青木主税
1993 (26 巻)	1	焦点●「看護におけるケアリングの概念」 綜説「ケア/ケアリングの概念」 筒井真優美 海外文献「組織文化における看護実践のためのビューロクラティック・ケアリングの理論」 Marilyn Ray, 清真佐子, 吉田智美, 筒井真優美 海外文献「高齢ナーシングホーム入居者間におけるケアリング行動のタイプと意味」 Cynthia Poznanski Hutchison, Sr. Rose Therese Bahr, 鈴木千衣, 筒井真優美 解説「看護におけるヒューマン・ケアリング: 多元論的研究方法を求めて—日本看護科学学会・第1回国際看護学術集会を終えて」 樋口康子 解説「『ケアリング』の概念と研究方法を模索して」 近田敬子
	2	特集●「日本看護診断研究会・第2回学術集会報告」 シンポジウム: 看護診断の臨床への導入[1. 看護診断の臨床への導入[1]—神戸大学医学部附属病院の場合」 新道幸恵 シンポジウム: 看護診断の臨床への導入[2. 看護診断の臨床への導入[2]—慶応義塾大学病院の場合」 広瀬千也子 シンポジウム: 看護診断の臨床への導入[3. 看護問題を明確にするために—東京厚生年金病院の場合」 本田みき子 シンポジウム: 看護診断の臨床への導入[4. POS 記録委員会および院内研修を通して—東北公済病院の場合」 菊地登喜子 教育講演[1. チーム医療における看護診断の意義」 中木高夫, 教育講演[2. 自己概念の変化について」 松本光子 教育講演[3. 看護基礎教育と看護診断」 江本愛子 教育講演[4. 看護診断: ノンコンプライアンス」 江川隆子 一般演題[1. 看護診断導入における問題点について」 大谷利江, 田渕順子, 沢井雅子, 吉井友恵 一般演題[2. 看護診断の導入に際しての継続教育プログラムの考案」 黒田裕子 一般演題[3. 実習記録への看護診断取り入れの効果と問題点」 堂下芳美, 八塚美樹 一般演題[4. 看護診断に基づいた標準看護計画の導入とその活用の実態」 細井恵子, 山本淳子, 井上佳子, 広瀬千也子

- 1993 2 一般演題「5. 看護診断の枠組みを用いた看護情報の質査定—糖尿病教育入院患者の事例分析から」 安酸史子, 草刈淳子
 (26 巻) 一般演題「6. 舌癌患者の看護診断名を考える」 清水良子
 一般演題「7. 「安楽の変調」「不安」に対する看護婦の認識—その傾向と問題点」 梶原明子, 前田しのぶ
 一般演題「8. 「社会的相互関係の障害」の看護診断の検討—18 歳男性, 人格形成不全事例を通して」 八田勘司, 北島謙吾
 一般演題「9. ICU における食道癌術後患者の看護診断」 渡邊仁美, 小椋かおる, 藤原由美子, 金村延子, 太田和恵, 森本靖子, 井山寿美子
 一般演題「10. 肺切除術後の看護診断リストの作成」 白神礼子, 楠橋初美, 掛谷益子, 高岡弘恵, 久保五月
 一般演題「11. 外科開腹術後の看護診断リストの作成」 越智みゆき, 佐藤圭恵, 渡部早月, 伊藤美由紀, 寺町徳子, 三木志津子
 一般演題「12. 妊婦の助産診断について—助産婦学生の実習記録から」 黒田優子, 斎藤いずみ, 藤澤洋子
 一般演題「13. 妊婦の助産診断について—臨床助産婦による」 藤澤洋子, 黒田優子, 松木光子
 一般演題「14. 妊婦・分娩および産褥期における看護診断の検討(第1報)—助産録の用紙を中心に」 山内康江, 川上澄枝, 稲田陽子, 亀尾克栄, 加持谷多栄子, 足塚則子, 瀬尾有里, 前田隆子, 三瓶まり
 一般演題「15. 心身症および神経性習癖をきたした思春期の男子に看護診断を導入して」 本郷久美子, 鈴木恵子
-
- 3 焦点●「臨床看護の概念化に向けて」
 総説「臨床看護の概念化に関する1つの問題提起—看護診断と臨床判断を巡って」 羽山由美子
 総説「看護における実践知—看護学におけるパラダイム転換へのアプローチ」 池川清子
 研究「看護実習における「意志決定」の過程を分析する教育の効果」 Judith Shamian, 高村寿子, 江川隆子, 木原裕
 研究「臨床実習における「看護診断」の導入」 大谷英子, 松木光子
 解説「看護実践における「看護診断」の理論的基盤」 大竹芳子
 解説「看護実践の卓越性とケアリングのパワー—「ベナー看護論」を読んで」 羽山由美子, 高田早苗, 木下幸代
-
- 4 特集●「看護における質的研究—質的研究で看護の何が見えるのか聖路加看護大学公開講座委員会編」
 第1章「質的研究: 科学か, それとも単なる学問か」 Barbara Bowers
 第2章「質的方法論の種類とタイプ」 Barbara Bowers
 第3章「シンポジウム1 方法論の選択」 中山洋子, 飯田澄美子, 片田範子, Barbara Bowers
 第4章「看護における質的研究: 現状についての考察」 Barbara Bowers
 第5章「シンポジウム2 質的研究を高めるにはどうすればよいか」 Barbara Bowers, 中山洋子, 片田範子, 飯田澄美子
-
- 5 焦点●「ヒューマンセンサー(感性)に関する看護研究」
 総説「痛みの測定・評価とケアに関する看護研究」 深井喜代子
 総説「看護学における味覚の研究」 蓑原美奈恵
 研究「看護場面における沈黙時間の検討」 山本勝則, 内海澪
 研究「在宅要介護老人の介護者における疲労感の計量研究」 横山美江
 研究「白内障患者の色覚に関する研究」 平井優美, 土屋尚義, 金井和子
 研究「身体に接触する器具の温度に関する研究—(第1報)便座保温の有無とトイレ・イメージの変化」 池田敏子, 近藤益子, 高田節子
 研究「身体に接触する器具の温度に関する研究—(第2報)便座の温度変化が生体に及ぼす影響」 近藤益子, 池田敏子, 高田節子, 内海澪, 三木玲佳
-
- 6 研究論文集・原著論文
 「末期癌患者の看護に携わる看護婦の実践的知識」 菅原邦子
 「子宮全摘出術の決意時における患者の納得の仕方—子宮筋腫の患者に焦点をあてて」 秋元典子
 「脳血管障害者の病院から在宅生活への継続ケアの要件—退院前後の患者のADLレベルとケアニーズ比較」 牛久保美津子, 島内節, 山野辺トキ, 坂塚貞子

発行年 号 焦点、特集等のテーマと収載論文
(巻)

- 1993 7 焦点●「看護大学教育の理念とカリキュラム」
(26 巻) 巻頭言「看護学の大学教育」 平山朝子
対談「カリキュラムから見た看護大学教育」 竹尾恵子, 菱沼典子
解説「ニューヨーク大学看護学部の概要とカリキュラム」 筒井真優美
解説「英国における看護教育」 野嶋佐由美, 三好智美
解説「看護福祉学部における看護教育課程—北海道医療大学の場合」 深山智代
解説「医学部保健学科の看護教育課程—広島大学の場合」 小西美智子
解説「効果的医療人教育の展開」 植村研一
-
- 1994 1 研究論文集「原著論文」
(27 巻) 「集中治療室における看護ケアの分析とその構造化」 上泉和子
「在宅痴呆性老人の死亡前 1 年間における居所の移動」 北川公子, 中島紀恵子, 工藤禎子
「慢性病患者の看護援助の構造化の試み—糖尿病専門外来看護の臨床経験を通して(その 2)」 正木治恵
-
- 2 特集●「国際シンポジウム「家族看護学研究の動向：患者と家族の QOL の向上と看護の充実をめざして」」
第 I 部 母子看護における家族看護学研究の動向
基調講演：家族看護学研究の将来 Lorraine M. Wright, Janice M. Bell
シンポジウム・1：子どもと親に与える入院の影響に関する看護研究 Bonnie Holaday
シンポジウム・2：地域における子どもと家族 Bette R. Keltner
シンポジウム・3：心身に障害のある乳幼児を育てる家族のニーズと支援システム 森秀子
シンポジウム・4：日本の母子看護領域における家族看護学研究の動向 森恵美
シンポジウム・5：討議 兼松百合子
第 II 部 成人・老人看護における家族看護学研究の動向
基調講演・1：成人・老人ケアにおける家族看護学研究 Ann L. Whall
基調講演・2：高齢社会における家族看護学研究の課題 鈴木和子
シンポジウム・1：成人・老人期における家族介護—国際的看護研究課題 Linda L. Davis
シンポジウム・2：再編成と隔たり形成：透析患者のアフリカ系アメリカ人家族における慢性疾患のコピーング Barbara Holder
シンポジウム・3：日本におけるがん患者家族の現況と家族看護学研究について 佐藤禮子
シンポジウム・4：痴呆性老人の家族看護学研究の課題 斎藤和子
シンポジウム・5：討議 野口美和子
第 III 部 援助システムから見た家族看護学研究の動向
基調講演・1：実践方法論の適用：家族を基盤にすえた対象理解 薄井坦子
基調講演・2：地域を基盤に展開する保健婦活動と家族支援システム 平山朝子
シンポジウム・1：地域における家族看護インターベンション研究 Marilyn M. Friedman
シンポジウム・2：韓国における家族看護ケアシステムの研究 Soon-Nyoung Yun
シンポジウム・3：援助システムにおける家族看護学の動向—家族を単位とした援助システムの観点から 金川克子
シンポジウム・4：病院を基盤とした訪問看護における「家族看護」と援助システム 草刈淳子
シンポジウム・5：討議 杉森みどり
-
- 4 焦点●「感染予防に関する看護研究」
総説「感染に関する看護研究—今後 5 年間の課題」 小島通代, 外崎明子, 秋山照男
文献展望「院内感染に関する看護研究の動向と今後の展望—日本看護関係文献集の収録文献を中心に」 高橋泰子
文献展望「在宅感染予防に関する文献学的研究—MRSA, 一般細菌を中心に」 川村佐和子
解説「院内感染に関する看護研究を現場でどう生かすか」 高橋泰子
研究「気管内吸引における流し水の清浄度に関する研究」 佐藤鈴子, 高橋泰子, 富取こずえ, 横森美和, 山田奈緒美, 後村雅子, 大橋真理子, 小島通代
研究「MRSA 感染患者に行なった各種ケア後の予防衣および手袋の細菌汚染度比較」 高橋泰子, 田谷千春, 橋本洋子, 佐久間仁子, 宇野光子, 山下多香子
研究「MRSA 感染患者病室入口に作成した消毒液を浸した布マットの除菌効果」 高橋泰子, 井上順子, 菅沼登美枝, 豊田富士子, 松浦聡子, 山下多香子
研究「在宅ケアにおける細菌学的環境の研究」 村井貞子, 川村佐和子, 牛込三和子, 江沢かず

- え, 長谷川美津子, 近藤紀子, 河野由起子, 宮川高一
- 1994 5 特集●「看護の専門分化とクリニカル・ナース・スペシャリスト(CNS)―その現状と展望聖路
(27 巻) 加看護大学公開講座委員会編」
第1章「クリニカル・ナース・スペシャリスト(CNS)の役割の歴史的概観」 Ann B. Hamric
第2章「日本における看護のスペシャリストの現状」 小島操子
第3章「クリニカル・ナース・スペシャリスト(CNS)の役割と教育」 Ann B. Hamric
第4章「クリニカル・ナース・スペシャリスト(CNS)の現在の立場と将来の展望」 Ann B. Hamric
第5章「シンポジウム日本における看護のスペシャリストの現状を考える」 鈴木文江, 川名典子, 青木和恵, 大友陽子, 座間幸子, Ann B. Hamric, 小島操子, 岩井郁子
文献「上級実践のためのモデル」 Joy D. Calkin, 羽山由美子, 有森直子, 小野正子
- 6 焦点●「老人ケアの教育とカリキュラム」
解説「看護基礎教育における老人看護の位置づけ」 田島桂子
解説「高齢者を中心とした訪問看護の研修」 佐藤美穂子
解説「老人ケアと保健婦教育」 高崎絹子
解説「歯科医師・歯科衛生士の教育における老人ケア」 寺岡加代
解説「薬剤師教育における老人ケア」 佐谷圭一
解説「介護福祉士教育における老人ケア」 山崎摩耶
解説「社会福祉士の資格取得状況と教育について」 木下康仁
解説「ST 教育と老人ケアへの取り組みの現状」 植田恵
解説「米国における老人看護教育の実情」 田島桂子, 高崎絹子
解説「ドイツにおける老人介護士の養成と役割」 佐藤美穂子
- 1995 1 焦点●「医療における女性の意思決定」
(28 巻) 総説「医療における女性の自己決定権」 芦野由利子
解説「働く女性と女性特有の問題について」 前原澄子
解説「人口問題への女性の視点―カイロ国際人口開発会議から」 柘植あづみ
解説「体外受精を受けるクライアントの心理」 森恵美
解説「女性障害者の妊娠・出産・自己決定―出生前診断への新たな視点」 斎藤有紀子
報告「告知場面にみる医療者の性別役割分業観―父親はそれほど強いのか?」 玉井真理子, 加部一彦
- 2 巻頭論文「看護研究の活性化とネットワーキング」 Frances M. Lewis, 輪湖史子
資料抄訳 輪湖史子
原著論文「“看護者の行為”に対する患者の認知―リハビリテーション病棟に入院している脳血管障害患者に焦点をあてて」 大川貴子
原著論文「痛み質問紙の開発― McGill Pain Questionnaire」 我部山キヨ子
- 3 原著論文「痴呆老人の家族介護に関する研究―娘および嫁介護者の人生における介護経験の意味 1. 研究背景・文献検討・研究方法」 山本則子
原著論文「日本語版便秘評価尺度の検討」 深井喜代子, 杉田明子, 田中美穂
原著論文「日本語版便秘評価尺度を用いた高齢者の便秘評価」 深井喜代子, 塚原貴子, 人見裕江
原著論文「地域住民のうつ状態の危険因子に関する研究」 桂敏樹, 野尻雅美, 中野正孝
- 4 焦点●「看護ケアの質の評価に関する研究」
研究「看護の経済的評価に関する考察」 安川文朗, 島田陽子, 金井 Pak 雅子, 中野夕香里, 井部俊子
研究「看護ケアの測定用具の開発と洗練―「該当せず」への回答状況と理由の分析」 堀内成子, 南裕子, 岡谷恵子, 高田早苗, 小山真理子, 田村正枝, 田中美恵子, 小松浩子, 森明子, 井部俊子, 岩澤和子, 飯塚京子, 清水喜久子, W. L. Holzemer
報告「看護ケアの測定用具の開発過程」 堀内成子, 南裕子, 高田早苗, 岡谷恵子, 小山真理子, 森明子, 小松浩子, 太田喜久子, 岩澤和子, 井部俊子, 飯塚京子, 清水喜久子, 山田雅子, W. L. Holzemer
原著論文「看護婦―患者関係における信頼を測定する質問紙の開発―信頼の構成概念と質問紙の項目の作成」 岡谷恵子
原著論文「看護ケアの質を構成する要素の検討―量的調査を用いて」 柴田秀子, 上泉和子, 栗

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
------------	---	------------------

- | | | |
|----------------|---|--|
| 1995
(28 巻) | 4 | <p>屋典子, 吉村千代子, 横道みさを, 桧垣美香子, 鈴山久代, 勝原裕美子
 海外文献「ケアリングの中範囲理論の経験的な発展」 Kristen M. Swanson, 小林康江, 片田
 範子</p> |
| | 5 | <p>焦点●「看護管理と情報テクノロジー」
 鼎談「看護管理における情報システムの研究の位置づけ」 石垣恭子, 高谷嘉枝, 中西睦子
 提言「看護管理研究に必要な看護情報処理システムの必要性と可能性—「看護の質」検討データ
 としての「看護記録」とその情報処理」 河口てる子
 解説「看護情報システムの開発経過と看護情報学教育への展開」 水流聡子
 研究「AI 機能を活用した看護診断システムの開発」 池上峰子, 大原彰子, 新道幸恵
 報告「鹿児島大学医学部附属病院における看護情報システムの開発とその評価」 宇都由美子
 報告「旭川医科大学医学部附属病院における看護情報システムの開発とその評価」 加藤千津子
 海外文献「イノベーションの普及」 Carol A. Romano, 『看護研究』編集室</p> |
| | 6 | <p>テーマなし(原著論文)
 「精神科看護者の境界性人格障害に対するとらえ方と態度」 野嶋佐由美, 畦地博子, 森岡三重
 子, 宮岡勤子, 梶原和歌, 宮内美紀子, 仲野栄, 山崎マリ, 野中邦子
 「危機的患者の心理的対処プロセス—危機対処モデルの作成」 山勢博彰
 「精神分裂病患者の社会復帰を促す看護婦のコミュニケーション技術の分析」 萱間真美, 田中
 美恵子, 中山洋子
 「ポリウレタンフィルム使用による循環不全時の褥瘡予防への効果的方法」 柴山健三, 新美亨
 子
 「痴呆老人の家族介護に関する研究—娘および嫁介護者の人生における介護経験の意味 4. 介
 護しなければならない現実と折り合う・介護の軌跡・結論」 Bernadette Mazurek Melnyk,
 筒井真優美, 佐藤奈々子, 山下洋美, 山村美枝, 稲勝理恵, 堀内園子</p> |